

CONFORT

インテリア・デザイン・建築を結ぶ [隔月刊コンフォルト]

平成9年12月5日第三種郵便物認可 2009年4月1日発行 (隔数月1日発行)

2009 No.107 April

4

難しい条件だからこそ、生まれる空間がある。
小さな面積を逆手にとる、知恵と発想。

特集 小住宅の冒険

Small House Adventures

箱の空間美学 山口昌伴

小さいからこそ、シンプルにしない。住宅3例

村山雄一 / 服部信康 / 西久保毅人

精神のための極小空間 岡倉天心の六角堂 / 松浦武四郎の一畳敷

身の丈の家を追求する思索者たち 鈴木明

小さいダイニングテーブルと椅子

アトリエを備える2つの小住宅 白川直行

すまいの可能性を広げる新しい窓

オーダー・造付け・システム……限られた空間を広く美しく見せる

保存版 収納家具のプランニング

リビング化する洗面・トイレ・シャワールーム

巻末付録 オープンな水まわり空間をつくる



家具になっても呼吸を続ける無垢材。モダンな家具のあふれる会場で、太古の自然にひかれて思わず来場者が足を止める。「木がもつ本来の個性を作品でも伝えたかった」と、リクライニングチェアをデザインしたアレクサンダー・クルティウス。



上/デザイナーが「古い引き出しにもう一度命を与えたくて」考案したSchubladenのチェスト。下右/ステイヴン・パークスがカペリーニのためにデザインしたテーブルは、シュレッダーにかけた古紙をオーガニック接着剤で固めたもの。左/Zweitsinnのアームチェアは古いマットレスと洋服の生地を再利用した、トラッシュとカルトのはざまのデザイン。

「古い引き出しにもう一度命を与えたくて」考案したSchubladenのチェスト。下右/ステイヴン・パークスがカペリーニのためにデザインしたテーブルは、シュレッダーにかけた古紙をオーガニック接着剤で固めたもの。左/Zweitsinnのアームチェアは古いマットレスと洋服の生地を再利用した、トラッシュとカルトのはざまのデザイン。

後者には、若いデザイナーが集まった。d3。会場のあちこちで出合った。まず目を引いたのが米國ノード社の照明器具、Iie2go。プラスチックの包装がそのままランプシェードに早変わりする。同社は設立3年目で、他にもオーガニックコットンや古いバラシユート布などを再利用したエコデザインで知られる。

同じ一角のベルリンの女性デザイナーによる「シュプラーデン」(ドイツ語で「引き出し」の意)は、古い家具の引き出しを新しいフレームに納めてオリジナルな味わいを出していた。この発想をさらに進めて、廃材利用そのものを主眼とするツヴァイトジン(「セカンド・センス」の意)の

「特にコントラクト部門で発注者側の環境意識が高まっている。今後はグリーンデザインしか生き残れないのでは」と強気だ。

大御所、コンスタンティン・ゲルツッチが考案したプラスチック椅子MYTOが前者の例だ。BASFS社が開発した100パーセントリサイクル可能な新素材を用い、強度と柔軟性の両方に富む片持構造のデザインを実現した。「グリーンデザイン」野暮ったい」というイメージを完全に払拭し、会場でも注目の的だった。発売元フランクの担当者は「特にコントラクト部門で発注者側の環境意識が高まっている。今後はグリーンデザインしか生き残れないのでは」と強気だ。

一方、ノール、レオラックス、ロルフベッツといったハイエンドのメーカーでは、「捨てないことが究極のエコ」という考えを貫く。上質の素材を用いたタイムレスなデザインの家具なら何十年も愛用してもらえ、それが結果的に環境保護に寄与するというわけだ。ソファを張り直すように、チェストやサイドボードのフロントを交換するというドイツのケットナッカー社のアイデアも、製品の寿命を延ばすという狙いは同じ。同社の新シリーズSOMAは、6ミリ厚のフロントをマグネットで固定、飽きたら新しいものを工具なしで簡単に取り替えることができる。

をもつという当社の哲学を20年前から実践しています」と同社デザイナーのローランド・マイヤー・ブリュール氏は胸を張る。

ブースも同じ会場にあった。「廃材を使えば、粗大ゴミが減ると同時に新製品生産に伴う二酸化炭素排出量も減少する」という理念を実践、粗大ゴミに出された家具や洋服を再利用してソファや本棚などにつくり替えている。同団体は環境意識の高いデザイナーのネットワークで、ドイツ環境財団が活動を助成する。これらアルチザンの製品に共通しているのは、環境にやさしいと同時にデザインがユニークであること。その両方があってこそ消費者にもアピールできるのだ。